

平成 29 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	長良児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市長良389番地2		
指定管理者名	社会福祉法人 日本児童育成園		
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	16,020,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建 ◇敷地面積:716.74㎡ ◇延床面積:515.50㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、集会室兼図書学習室、おもちゃ図書館、事務室兼静養室、駐車場		

●利用状況

		H29下半年期	H29上半期	H28下半年期	H28上半期	H27下半年期
利用者数 (単位:人)	来館者数	16,374	17,669	14,929	16,923	14,865
	移動児童館利用者数	1,516	1,056	1,227	945	1,183
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	23	23	24	23	26
	開館日数(単位:日)	151	157	151	157	151

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤は計画どおり実施。 ②所長(正規職員、児童厚生員)、正規職員2人(児童厚生員2人(体育指導員1人)、非常勤職員1人。 ③毎月のおたよりは、小学校・幼稚園・公民館、健康センターなどに配布し、ホームページにも記載。ホームページの力は大きく行事の問い合わせ多数。地域の情報誌(ふれあいタイムス)に毎月の行事を掲載。 ④苦情・クレームなし。アンケートの要望に対する回答を館内に掲示。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①適切に実施。誘導灯や警備等は定期保守点検実施 ②就労促進事業施設清掃班による施設の清掃を実施。職員による備品・おもちゃの消毒・ドレスの天日干し・フィルター掃除等定期的に実施。 ③使用していない部屋をこまめに消灯。冷暖房の調節等も行う。ペットボトルのふた・トイレトペーパーの芯等廃材利用をしたり、講師料を削減するため自前行事を励行。1階事務所冷暖房を新調したことで幼児室の連動がなく電気代の節減となる。 ④おもちゃ病院に壊れたおもちゃの修繕を月に1度お願いしている。下半年は、2階図書学習室の机を新調したり、カーテンレール等を修理保守。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①センター内の簡単な修繕は職員で対応。 ②地域の方や指定管理者の連携の中でのボランティアの方に危険箇所や修理箇所を依頼修繕。下半年は1階非常灯・2階排煙装置も市役所に依頼して修繕。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、③適切に実施、毎月の安全点検を継続。情報共有することで、危険管理意識を高めている。来館者と共に避難方法を確認。 ②職員間で避難場所・誘導の趣味レーション等を共有。独自で不審者対応マニュアルを作成し、常に各自携行している。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>【保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート】 平成30年3月 保護者(一般来館・クラブ参加)の94人にアンケート(無記名)を実施。 【小・中・高校生用アンケート】 平成30年3月 来館した児童・生徒にアンケート(無記名)を実施。 回答者数52人(小学:1年7名、2年10人、3年16人、4年7人、5年8人、6年4人)</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>〈保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート〉 【校区】 長良西(35%) 長良東(24%) 長良(17%) 鷺山(5%) 岩野田(3%) 市外(3%) その他(13%) 【性別】 男(15%) 女(84%) 無回答(1%) 【年齢】 10代(1%) 20代(12%) 30代(70%) 40代(15%) 50代以上(1%) 無回答(1%) 【利用頻度】 初めて(9%) ほぼ毎日(3%) 週2~3回(4%) 週1回(33%) 2週間に1回(20%) 月1回(29%) その他(1%) 【来館相手】 子・孫(77%) 友人(3%) その他(1%) 無回答(19%) 【来館方法】 徒歩(15%) 自転車(8%) 自家用車(75%) その他(0%) 無回答(2%) 【何で知った】 ホームページ(42%) 広報紙・チラシ(16%) 学校(2%) 保育所・幼稚園(0%) 知人・友人(27%) その他(13%) 【評価】 (あいさつ)……満足(96%)、ほぼ満足(3%)、普通(1%)、やや不満(0%)、不満(0%) (言葉づかい)……満足(96%)、ほぼ満足(3%)、普通(1%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用者対応)……満足(89%)、ほぼ満足(8%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%) 無回答(1%) (利用しやすさ)……満足(66%)、ほぼ満足(32%)、普通(2%)、やや不満(4.3%)、不満(2.9%) (整理整頓)……満足(78%)、ほぼ満足(20%)、普通(1%)、やや不満(1%)、不満(0%) (清潔感)……満足(66%)、ほぼ満足(25%)、普通(7%)、やや不満(2%)、不満(0%) (換気)……満足(64%)、ほぼ満足(24%)、普通(12%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>〈小・中・高校生用アンケート〉 【性別】 男(44%) 女(56%) 【学校名】 長良小学校(58%) 長良東小学校(27%) 長良西小学校(15%) 【学年】 小学:1年(13%)、2年(10%)、3年(31%)、4年(13%)、5年(15%)、6年(9%)、 【利用頻度】 初めて(6%)、毎日(0%)、週4・5回(8%)、週2・3回(19%)、週1回(31%)、その他(35%)、無回答(2%) 【来館相手】 ひとり(24%)、友人(27%)、父母(13%)、親戚(3%)、その他(8%) 【来館方法】 徒歩(26%)、自転車(46%)、自家用車(28%)、バス・電車(0%)、その他(0%) 【好きな遊び】 ゾンビ大会(54%)、ぬりえ大会(13%)、カードゲーム(7%)、ボードゲーム(9%)、カラム大会(2%)、キッカーボード(2%)、その他(13%)</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>要望⇒回答 ○大人用の本を増やしてほしい。⇒おもちゃ図書館に大人向けの子育てに関する本等ご用意させていただいておりますが、また興味のあられる本等ございましたら教えていただければ検討させていただきます。 ○音の出るおもちゃを増やしてほしい。⇒各部屋に音の出るおもちゃはご用意させていただいておりますが、手作りおもちゃや、予算内での購入の検討をさせていただきます。 ○(クラブが)火・水にもあればいい⇒申し訳ありません。火・水は他の行事があり、これ以上増やすことが出来ません。 ○ママ同士が交流しやすい雰囲気を作って欲しい。他の児童館では職員の誘導がある。 ⇒新年度の0歳児対象行事ハッピーママサロンも始まりますので、ご参加いただき交流を深めていただければと考えております。職員が潤滑由になるよう配慮します。貴重なご意見ありがとうございます。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価			A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		⑬リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価			A	
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	A	A
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価			A	

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童センターの2階遊戯室で昼食がとれるようになった事が地域の方々や来館者の方々に周知し、浸透してきたため1日かけて来館して下さる方が多く見えた。特にクラブ終わりにそのままママ友とランチをとってから、なごみの行事に参加されたり、パパっこの活動終わりに父親同士ランチをとる姿も見られたことはとても微笑ましいことであり良い効果が生まれ、来館者アップにもつながった。 ・今年度の新規行事のパパっこのクラブは大変好評を得ている。前期に父親同士の交流を持ちたいという意見を反映させて後期は活動の終わりに交流会の時間を設けて、日頃気になっていることなどの情報交換等をし、親睦を深めた。 ・今期地域のネットワーク会議を当児童センターで開催し、地域の子育て支援の一躍を担う機関同士の交流を図った。行政とNPO法人で子ども食堂の方との会議では地域で協働していく事の大切さを確認しあった。 ・良長児童センターの母親クラブは6つあり、それぞれ活発に活動された。児童センターの職員のアドバイスをうけながら、バラエティーに富んだ活動をされ母親同士の横のつながりができた。 ・良長児童センターの幼児クラブ等は外部講師を迎えることなく厚生員自ら発達に応じた楽しい題材を提供しているからか、申し込み日にはお断りしなければならぬ程の人気行事となっている。 ・ブログを確認して活動の問い合わせが多くあり、広報活動が良好である。
<p>前回までの意見を 踏まえた取組み状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度始まったパパっこのクラブは問い合わせが多く人気行事となっているが、上半期参加者の父親達から活動終わりに交流会をしたいとの要望を受けた。下半期はみんなで懇親会の時間を持つことで、行事終わりに父親同士で一緒にお弁当を食べたり、連絡先を交換する姿も見受けられ一定の効果が得られた。 ・良長ネットワーク会議では民生委員・青少年育成会・行政・NPO法人の方等との情報共有をしながら地域と連携していった。 ・館内の清掃やおもちゃの消毒・ドレスの天日干し・裏庭の除草シートや空調の整備等環境整備に力を注いだ。 ・新年度土曜日や長期休暇に家族で参加できるような行事ができるよう準備をしている。
<p>今後の取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当センターの人気行事パパっこのクラブでアンケートの結果、運動遊びをこれからも取り入れてほしいという要望に応じて大きな会場を借りて移動児童館で取り組んでいく予定。その際、登録者だけではなく自由参加で単発行事として取り組んでいく予定。 ・気候に応じて不安定であったおでかけ児童館も楽しい遊びを提供しながら移動児童館で広報活動に力を入れていく予定。 ・リフレッシュ講座で、寝相アートや手形アートなど時代に即した楽しい行事をさらに企画。 ・新年度から始めての子育てに不安がある方などを対象の相談事業・ハッピーママサロンというサロンを企画。自由参加で何の縛りもなく気軽に立ち寄れるサロンとして活動していく。専門的な部分を担う臨床心理士・保健師・民生委員・ソーシャルワーカー等も交えてさりげなく支援をする。

●所管課の意見

<p>○毎月の「おたより」を担当地区の各小学校・幼稚園・保育所・公民館・コミセン・保健センターに配布、ホームページにも掲載。また、ホームページのブログには活動の様子を多くの写真付きで紹介した。</p> <p>○上半期から始めた「パパっこのクラブ」に参加された父親から、自主的に情報交換の場を持ちたいとの要望があったため交流会を実施したことで、既存事業の拡充に加え父親の育児に対する意識を高めた。</p> <p>○移動児童館を積極的に実施し、上半期・下半期各23回の計46回開催し、目標数値の24回／年を大きく上回った結果を大いに評価したい。</p> <p>○台風の接近や降雪が続いたが、所管課との連絡調整による閉館・休館等の適切な対応と、利用者や学校への事前通知など自発的な安全対策により、利用者の安全を確保し、事故無く管理運営を行ったことを評価したい。</p> <p>○職員体制や運営状況については問題なく行われている。</p>

●指定管理者評価委員会の意見

<p>臨床心理士やソーシャルワーカー等を交えたサロンの開催は、先駆的な取り組みであるため、実施に向けて他の児童館・児童センターの見本となる事業になることを期待している。</p> <p>管理運営は適正に行われており、良好と認められる。</p>
--